

令和8年3月1日
石川県勤労者山岳連盟
山の天気講習会

天気予報から学ぶ山岳気象のリスク

～気象避難を避けるため～



池津 勝教
(いけづまさのり)

- ・気象予報士
- ・防災士
- ・気象防災

アドバイザー

2013年～ NHK金沢放送局

- ・かがのと
- ・かがのとラジオ

本日の内容

①山岳気象の特徴

(平地との天気予報との違い)

②基本となる天気図の見方

③インターネットで手に入る

気象データ

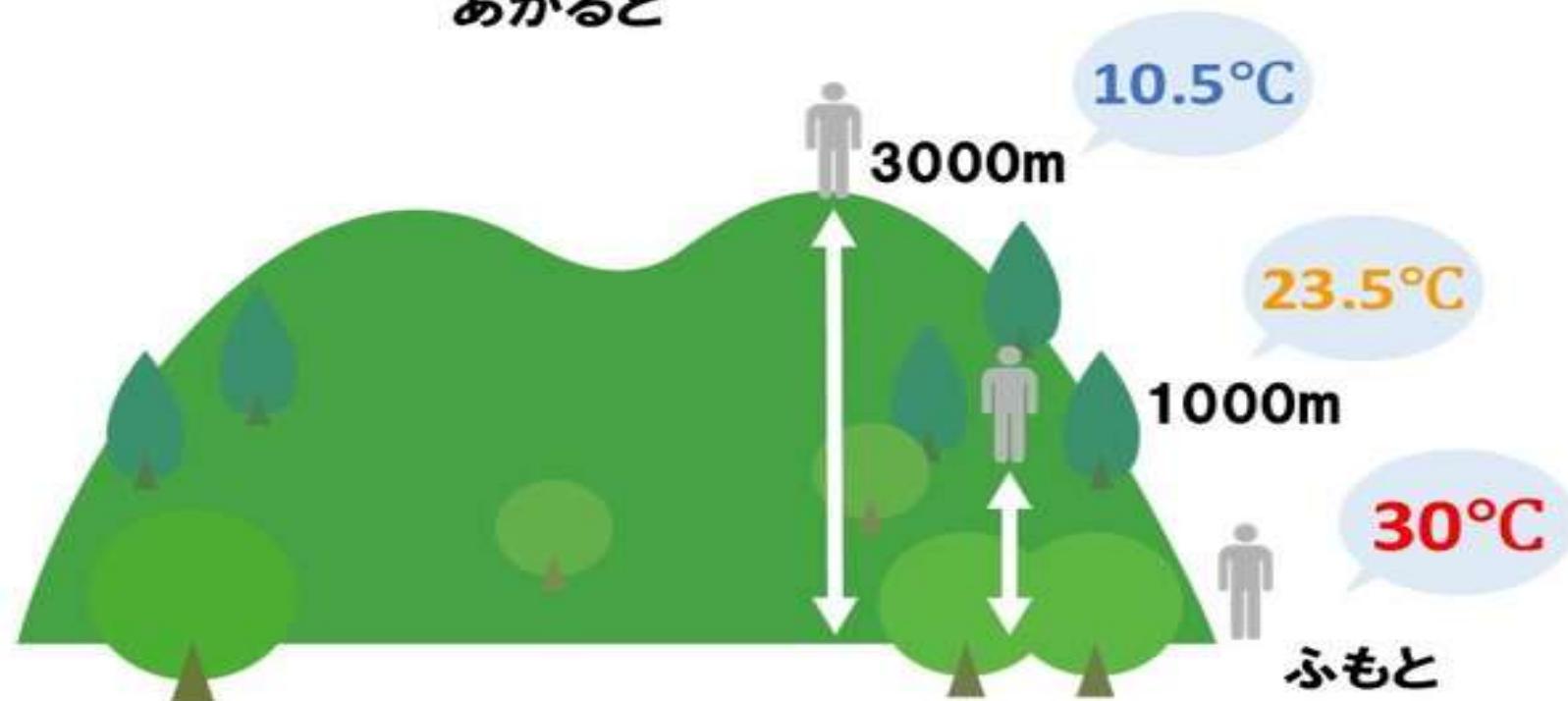
山岳気象の特徴



山岳気象の特徴① 平地と比べて気温が低い

標高 1000m = 気温 **-6.5 °C**

あがると



ふもと

山岳気象の特徴② 平地と比べて風が強い

1/10の風速(午前9時)

上空ほど地形の影響(摩擦力)が小さい!

2,900m

24m/s

時速86km ≈

1,400m

22m/s

時速79km ≈

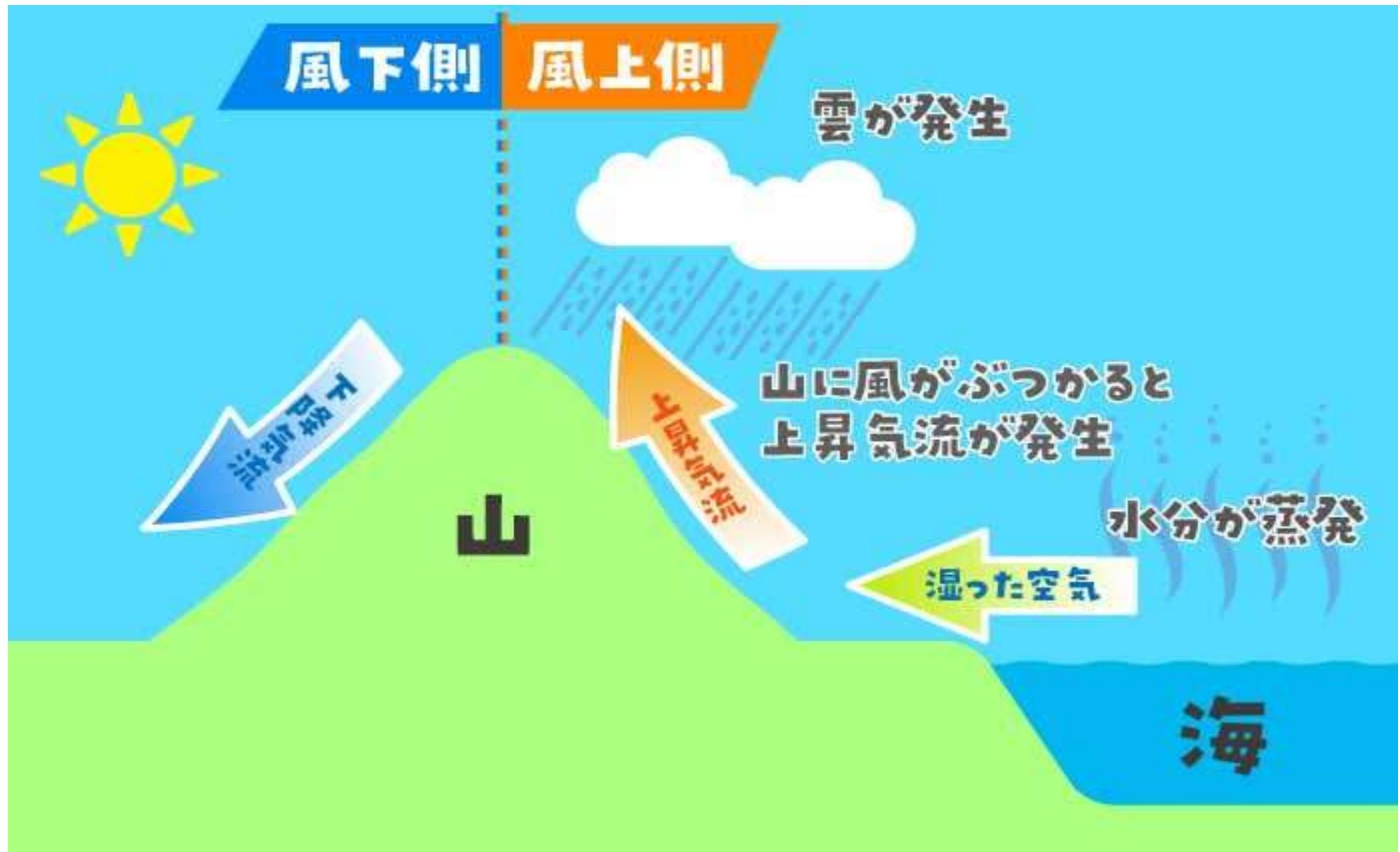
地上

12m/s

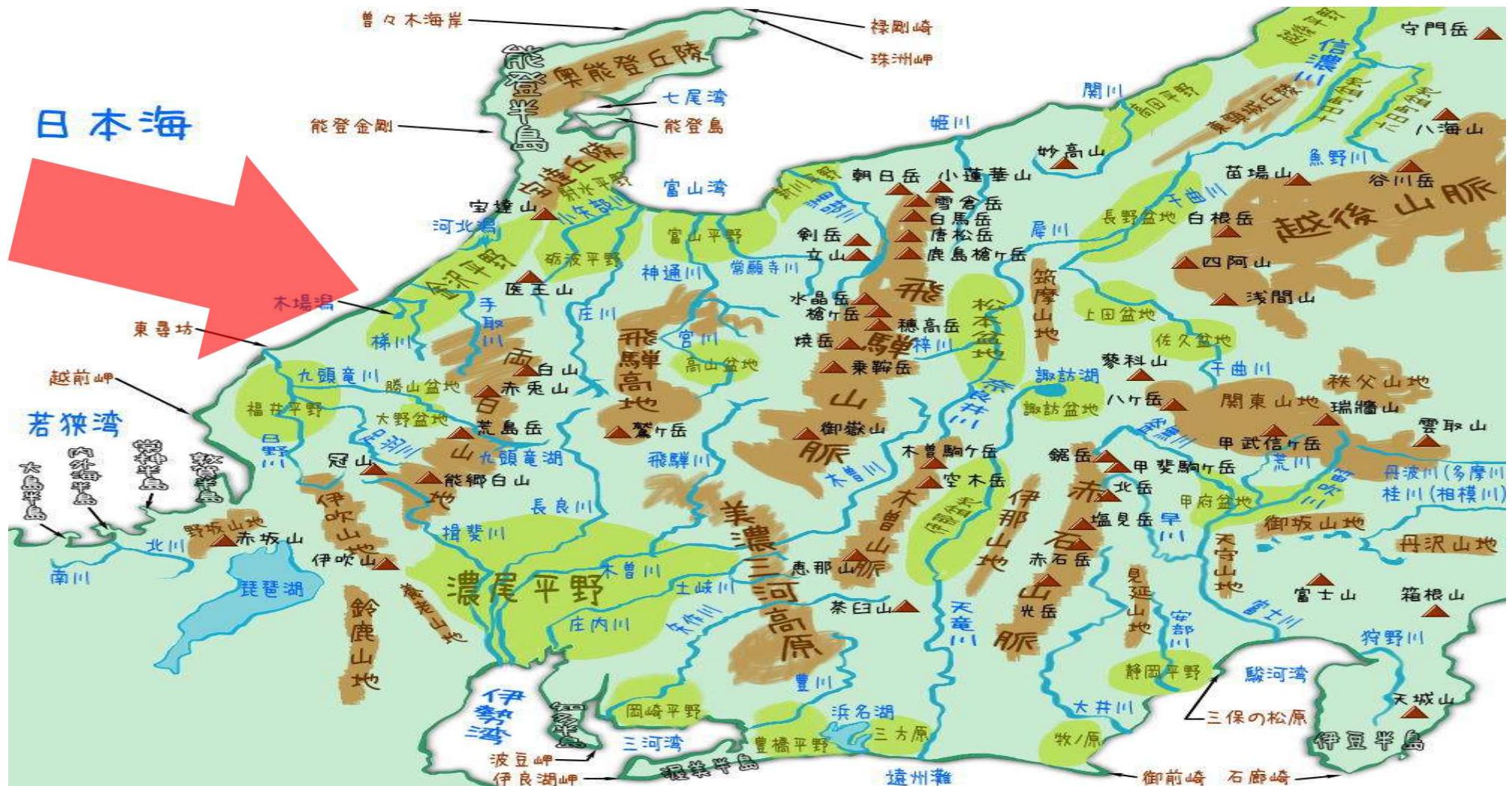
時速43km ≈



山岳気象の特徴③ 雨雲が発生しやすい



北陸の山は海からの距離が短い → 海から湿った空気が入りやすい



出典：47Prefectures 47都道府県のあれこれ

想像してみましょう
～金沢の天気予報～

曇り時々晴れ 最高気温20°C 西風5m

白山室堂付近の午後の気象状況は？



写真：白山観光連盟

白山の‘四季’(六季？？)

夏



初秋



晚秋



冬



早春



晚春



季節のイメージ

季節

平地

山（白山）

夏

6~8月

7~8月

秋

9~11月

9~10月上旬

冬

12~2月

10月下旬
~4月下旬

春

3~5月

5~6月

